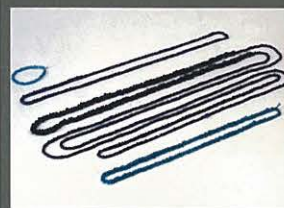


久留米から出土した “お宝”展

—歴史のかたまりたち—



- ◆ 期日：平成17年10月22日(土)～11月13日(日)
会期中無休
- ◆ 時間：午前9時～午後4時30分
- ◆ 会場：久留米市埋蔵文化財センター(諏訪野町)
入場無料
- ◆ 駐車場：えーるピア久留米駐車場利用

開催にあたって

あら くる めし へいせい たんじょう
新たな久留米市が平成17年2月5日に誕生しま
した。たぬしまる きたの じょうじま みずま
田主丸町、北野町、城島町、三瀧町と久
留米市が合併したことにより、こせい ゆた れきし
個性豊かな歴史・
でんとう ちいき ぶんか はってん さいだいげん はっ
伝統はこれからの地域文化の発展に最大限に発
揮されることでしょう。

また、「くるめの こうこく しりょうてん
考古資料展」も今回で第30回
を数える かねん
記念すべき年であります。これまでさ
まざまなテーマで展示会を催してまいりました。
てんじかい もよお
今回テーマのキーワードは、「合併」「郷土の逸品
（お宝）」です。

ここに展示した ぶんかざい
文化財（小さなかたりべたち）
は、ご覧いただく皆さまに しょうせい
新生「久留米市」の
ゆうきゆう
悠久の歴史を、そっとささやいてくれることで
しょう。ごゆっくりご覧ください。

また、昨年度に調査しました せいせき そくほう てんじ
遺跡の速報展示
かい
会を、合併を機に4箇所 じゆんかいかいさい
で巡回開催します。
じょうじま だいぜんじ くさの たぬしまる かいじょう
今年は、城島・大善寺・草野・田主丸の4会場で
展示します。合わせてご見学いただきますよう
ねがもつ
お願い申し上げます

平成17年10月22日

久留米市教育委員会
教育長 石川集充

歴史のかたりべたち

どれもが、さまざまな時代を生きてきました。

見つめてください。一つひとつのかたりべたちが、

あなたにその時代のお話をしてくれることでしょう。

◆旧石器時代



ナイフ形石器

のぐち
野口遺跡 (山川野口町)

旧石器時代

石材：サヌカイト 切れ味最高！ 肉を切っても油で切れなくなることはありません。道具の起源をととも言えるでしょう。

◆縄文時代



ふかばちがた とき 深鉢形土器 (野口式)

のぐち
野口遺跡 (山川野口町)

縄文時代前期

平行沈線文と弧線文の文様。独創的な文様は川と山の恵みでしょうか。文様を描いた縄文人はどんな人だったのでしょうか。



はちがた とき 鉢形土器 (西平式)

のぐち
野口遺跡 (山川野口町)

縄文時代後期

波状の口縁, 磨消縄文。優雅な曲線は使っていても飽きなかったでしょう。一度つけた縄目の文様を部分的に磨り消して、複雑な模様になっています。



ふかばちがた とき 深鉢形土器

しょうふくじ
正福寺遺跡 (国分町)

縄文時代後期

口縁部と脚部に擬似縄文を施し、それ以外は丁寧に磨いています。口縁は波打った形で、3箇所にも山を持ちます。丁寧な仕上げ具合を見ると、土器作り名人だったのかもしれない。

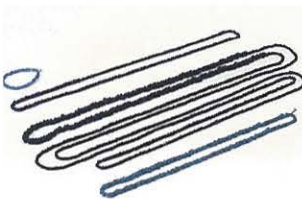


ぼうじょうすいしよくひん 棒状垂飾品

いち の うえきた やしき
市ノ上北屋敷遺跡 (合川町)

縄文時代早期

棒状を巡る一条の沈線を刻み、その中央に穴をあけています。何時間かかって作り上げたのでしょうか。何に使う道具だと思いますか。



こだま ガラス小玉

いち さう
一の左右遺跡 (荒木町) 第6次調査

弥生時代後期

コバルトブルー玉 1,644 個、スカイブルー玉 55 個をお墓の中で発見しました。小さい玉に細かな穴があいています。どうやって穴をあけたのでしょうか。



ほうかくきくきょう
方格規矩鏡

よしづみ
良積遺跡（北野町）14号甕棺墓出土

弥生時代後半

面径 9.2cm 外区は波状文+鋸歯文+櫛歯文。細かな文様をつけていますが、鮮明な部分と不鮮明な部分があります。鑄型の具合でしょうか。



ないこうかもんきょう ぼうせいきょう
内行花文鏡（仿製鏡）

よしづみ
良積遺跡（北野町）28号甕棺墓出土

弥生時代終末

面径 7.7cm 外区は斜行櫛歯文、内区は七弧の連弧文。文様は見づらいですね。わが国で作られた鏡を仿製鏡といいます。



ないこうかもんきょう ぼうせいきょう
内行花文鏡（仿製鏡）

よしづみ
良積遺跡（北野町）S1027出土

弥生時代後半

竪穴住居から出土した銅鏡です。鏡は死者と一緒に墓に埋納されるのが普通なのです。ここにも歴史の不思議がありました。



ないこうかもんきょう ぼうせいきょう
内行花文鏡（仿製鏡）

にしやしき
西屋敷遺跡（合川町）2号石棺墓

弥生時代終末

面径 8.2cm・紐径 1.4cm・縁幅 1.25cm。部分的に白銅色を残した良質の鏡です。特に、中央の紐の部分は当時の輝きを見せています



さんかくぶちさんしんさんじゅうきょう
三角縁三神三獣鏡

こうらたいしゃ
高良大社蔵

弥生時代

面径 22.1 cm、約 5mm の反りを持つすばらしい鏡です。円形の紐は径 3.2 cm、高さ 1.4 です。卑弥呼が魏からもらったと言われる鏡です。内区には 6 区に分けて、神様と獣を 3 体ずつ描かれています。誰を鏡に映したのでしょうか。



どうほこ
銅矛

こうらたいしゃ
高良大社蔵

弥生時代

全長 82.55cm、関部幅 8.5cm、袋部下端部外径 4.9cm、刃部最大 6.3cm 全体的に保存状態は大変良いです。刃部の関部は欠損しています。

『筑後将士軍談』には、元禄十年（1697）に 13 口、享保七年（1722）に 5 口計 18 口の銅矛が藤田村天神浦の堤を築く時に発見されたと記載されています。

久留米藩士が藩内の有力神社に分けて奉納した中の 1 口とされています。



かめ かん ふく そう ひん まが たま くだたま
甕棺副葬品 (勾玉・管玉)

よしづみ
良積遺跡 (北野町)

弥生時代

身につけて葬られたのでしょうか。勾玉のすきとおった緑色が美しいですね。超ビッグな管玉も出土しました。



かめ かん ふく そう ひん てつ せい ぞく
甕棺副葬品 (鉄製鎌)

よしづみ
良積遺跡 (北野町)

弥生時代

甕棺に葬られた人は、勇敢な人だったのでしょうか。鉄製の鎌が物語っています。既に鉄製品を作る技術がもたらされたことがわかります。



に めり ど き あんこくじ かめかん ぼぐん
丹塗土器 安国寺甕棺墓群 (山川神代一丁目) (国指定史跡)

弥生時代中期中葉

甕棺墓 63 基、祭祀土坑 12 基、祭祀土坑から丹塗りの土器が多数出土しました。赤い色は魔除けを表すといわれます。弥生人の心が見えますか。



ほそ が た どう けん
細形銅剣 [市指定文化財]

ごびょうづか
御廟塚出土 (三瀨町)

弥生時代

『筑後将士軍談』の中で、三瀨町塚崎の御廟塚において、石棺の上から2本の銅矛が発見されたと作者の矢野一貞は紹介しています。この銅剣はそのうちの1本です。



せっか
石戈 [市指定文化財]

三瀨町出土

弥生時代

長さ 13.2 cm。研ぎ直しによる再生品と考えられます。柄が縦に付けられていたのでしょうか。2つの穴は柄と結び付けるための紐穴と考えられます。



いしほうちよう
石庖丁 [市指定文化財]

三瀨町出土

弥生時代

弥生時代を代表する稲の収穫具です。これまで弓頭神社の御神宝の一つとして大切に保管されていました。

古墳時代



じ かん
耳環 [市指定文化財]

三瀨町出土

古墳時代

耳環とは装身具、つまり、イヤリングのことです。6点は銅を素材として銀箔を巻いたものです。1点は錆ついてよくわかりません。



へんけいじゆうたいもんきょう ぼうせいきょう
変形獣帯文鏡 (仿製鏡)

わしづか こふん
鷺塚古墳 (荒木町)

古墳時代

面径 7.3cm。前方後円墳かと推定される古墳で、公園建設の時に石棺と鏡が出土しました。

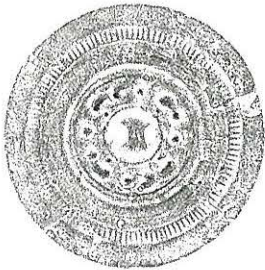


へんけいもんきょう ぼうせいきょう
変形文鏡 (仿製鏡)

ごくらくじ こふん
極楽寺古墳 (上津町) 1号墳 [市指定史跡]

6世紀代

面径 6.8cm。素紐を中心に4個の素乳、その周囲に蕨手状回転文その間に渦巻文をつけています。直径約 20mの円墳の玄室から出土しました。



しじゆうきょう ぼうせいきょう
四獣鏡 (仿製鏡)

にちりんじ こふん
日輪寺古墳 (京町) [国指定史跡]

5世紀末～6世紀初頭

面径 13.8cm 平縁、内区は変形した四獣を表しています。日輪寺古墳は全長約 50mの前方後円墳で、石室には文様を有する石障が四壁に巡ります。



ふくそうひん じかん すがたま こだま くだたま
副葬品 (耳環・勾玉・小玉・管玉)

じとくこふん
寺徳古墳 (田主丸町) [国指定史跡] 池尻庄吉氏寄贈

古墳時代

直径約 19mの円墳です。石室内には彩色を施した壁画があります。これらの副葬品は明治 29 年に採取されていたものです。



じんぶつはにわ
人物埴輪 [市指定文化財]

ごんげんづかこふん
権現塚古墳出土 (大善寺町宮本) [国指定史跡] 大善寺小学校管理

古墳時代

残存長 15.5cm。頭には高さ約 9cm の円錐形状の帽子を載せています。髪は後頭部で左右に二分し、耳元に美豆良 (みずら) の跡を見ることができます。鼻筋が通った美男子と見えませんか。



しらぎ けいど き おんつか
新羅系土器

御塚・権現塚古墳出土 (大善寺宮本) [国指定史跡] 大善寺小学校管理

古墳時代 (6世紀前半)

宝珠形つまみを持つ須恵器の坏蓋は口径 13.7cm、器高 6.1cm を測ります。3条の玃線帯の間にコンパス弧天紋があります。さて、見えますか



いえがた はにわ
家型埴輪

せきじんやまこふん
石人山古墳出土 (広川町) (木下恒夫氏寄贈)

古墳時代

屋根の一部の破片から復元した資料です。威風堂々とした家の形です。古墳の周りに立てていたのでしょう。



せきじん

石人〔県指定文化財〕

出土地不明 久留米文化財収蔵館蔵

古墳時代

現存高さ 65cm、幅 95cm、厚さ 15cm。板石を浮き彫りにした石人です。当初は 2m 程あったそうですが、今では上半のみ現存します。背には赤い顔料を塗った跡が見られます。



こがた ぼうせい きょうい がた
小型仿製鏡鑄型

じ とく こ ふん
寺徳古墳 (田主丸町)〔国指定史跡〕

古墳時代

長さ 9.7cm、幅 7.7cm、厚さ 2.9cm の大きさの鑄型です。熱を帯びた部分が黒く焼けています。この鑄型で作る鏡の直径は約 6cm になります。



ふたまたくわ

二又鍬 (木製品)

せ の う え

瀬ノ上遺跡 (田主丸町)

古墳時代

鍬の先は二又に分れ、握り手は滑らないように工夫されています。木鍬が良い状態で残っていたため保存処理を行ない、展示することができました。



こくしょど き

刻書土器「三井」「三原」

み い み はら
へボノ木遺跡 (東合川三丁目)

奈良時代 (8 世紀後半)

両方とも奈良時代の郡の名前です。「三井郡」(久留米市)「三原郡」(小郡市)を表します。へボノ木遺跡は「三井郡」の役所があったと考えられます。

奈良時代



ぼくしょど き

墨書土器「三万大領」「三万少」

みづまたいりょう みづましょう

の せづかいせき
野瀬塚遺跡 (安武町安武本)〔市指定史跡〕

奈良時代

「三万」は「みつま」と読み、「大領」「少」は職位を表します。三瀨郡の役所跡として道蔵遺跡 (大善寺町中津) を推定しています。



こくしょど き

刻書土器「田主」

の せづかいせき

野瀬塚遺跡 (安武町安武本)〔市指定史跡〕

奈良時代

野瀬塚遺跡の所在地を古代の地名で言うと、「筑後国三瀨郡田家郷」となります。「田主」は田家郷の長を意味しているのではないのでしょうか。



ぼくしょど き

墨書土器「田根麻呂」「寺」

へボノ木遺跡 (東合川三丁目)

奈良時代

「寺」は古代の寺、または役所を意味すると言われます。「田根麻呂」は人の名前でしょう。いったい何者だったのでしょうかね。



ぼくしょ ど き
墨書土器「石万呂□□□」

へボノ木遺跡（東合川三丁目）

奈良時代

「石麻呂」という人の名前を読めます。人名の下文字は不明なため、何を意味するのかわかりません。この器はバケツみたいな鉢形の土器です。



のき まるがわら のきひらがわら
軒丸瓦・軒平瓦

ちくご ことくぶん じあと
筑後国分寺跡（国分町）〔市指定史跡〕

奈良時代

上は直径 18 cm の複弁五弁の軒丸瓦です。下は中心に飾りを持つ均整唐草文の軒平瓦です。筑後国分寺に葺かれていた瓦です。



のきまるがわら
軒丸瓦

ちくご ことくぶん じあと
筑後国分寺跡（国分町）〔市指定史跡〕

奈良時代

左は単弁七弁の軒丸瓦で直径 17.2cm を測ります。右は直径 18cm の大きさを持つ単弁十八弁の軒丸瓦です。

◆平安時代



りよくゆう かちょうもんすかしぼりこう ろ
緑釉花蝶文透彫香炉

ちくご ことく ぶ あと
筑後国府跡（合川町）〔国指定史跡〕

平安時代

蓋の中央に擬宝珠形つまみを付け、その周囲に花蝶文を描き、その隙間を透かしにしています。つまみの部分が出土し、それ以外は復元したものです。お香のかおりも高貴に感じますね。



ぼくしょ ど き
墨書土器「守館」

ちくご ことく ぶ あと
筑後国府跡（合川町）〔国指定史跡〕

平安時代

「守」は筑後国府に仕える国司の長官を示す「かみ」を指すと考えられます。「館」は屋敷を意味するもので、国府の長官の屋敷を示す資料です。



えっしゅうようせい じわん
越州窯青磁碗

ちくご ことく ぶ あと
筑後国府跡（合川町）〔国指定史跡〕

平安時代

中国の浙江省を中心とした地で生産された器です。緑の釉薬が美しく、底部内外面に重ね焼きの目跡が残っています。



どういん
銅印「朝」

ひわたし
日渡遺跡（国分町）

平安時代（10世紀初め）

印面は 3.4×3.5cm、高さ 3.85cm、重さ 62.2g。 荅紐有孔型（がんちゅうゆうこうがた）の銅印です。「朝」は何を意味するのでしょうか。だれのハンコ？



イスラム陶器

筑後国府跡（朝妻町）

平安時代

5点とも第3期の国府跡周辺から出土しました。わが国出土した地点は、鴻臚館（福岡市）・大宰府（太宰府市）と筑後国府なのです。大変な珍品です。



歳骨器

西谷火葬墓群（山本町豊田）

奈良時代末～平安時代

身は黄釉褐彩壺。口径 12.4 cm、高さ 28.4 cm。蓋は越州窯系青磁碗。口径 16.8 cm、高さ 5.6 cm。西谷火葬墓群は、現在の久留米森林つつじ公園の周辺にありました。火葬されたのはお坊様ではないかといわれます。

鎌倉時代～室町時代～安土桃山時代



青磁碗・小皿

へボノ木遺跡（東合川三丁目）

鎌倉時代（1200年代前半）

これらの碗と小皿はお墓から出土しました。ということは、副葬品。被葬者は位が高い人？。



白磁碗

へボノ木遺跡（東合川三丁目）

鎌倉時代

口縁は7個の刻目で輪花を作っています。内面には線刻と櫛目で花文を描き、上品な色合いと形を作っています。



滑石製石鍋

神道遺跡（東合川四丁目）

鎌倉時代（1200年代後半～1300年代初）

井戸から出土した石鍋です。外面には形作ったノミの跡を見ることができます。内面の底には鎌倉時代のおコゲが残っています。



明朝染付皿

海津城跡（安武町住吉）

室町時代

海津城は、1508年に築城されて約100年間営まれた城です。中国の明代の染付磁器が出土するのは珍しく、青く澄んだ釉薬が美しいですね。



備前焼・片口小壺

海津城跡（安武町住吉）

室町時代

備前焼は岡山県で産出するやきものです。海津城跡から割れずに出土した小壺は、片口を有しています。醤油を入れたのでしょうか。



ちやがま
茶釜

かいづじょうあと
海津城跡（安武町住吉）

室町時代

胴の中位に一条のツバが付きます。茶の湯に使ったのでしょうか。さまざまな調理具がこの頃から出現します。



おにいたがわら
鬼板瓦

くるめじょうかまち
久留米城下町遺跡（城南町）第2次調査

安土桃山時代

毛利秀包が建てた教会の鬼板瓦で、そこには毛利家の「沢瀉紋」（おもだかもん）を示しています。教会を見守った瓦といえます。



のきひらがわら
軒平瓦

くるめじょうかまち
久留米城下町遺跡（城南町）第2次調査

安土桃山時代

教会の軒に並んだ瓦です。中心飾りに十字架（クルス）が見えます。久留米には当時、2つの教会があったと「1600年度仁ズス会年報」にあります。

江戸時代



えがらつしほうむこうづけ
絵唐津四方向付

久留米城下町遺跡（城南町）第11次調査

江戸時代（1600年代前半）

口径13.6 cm、高さ5.0 cm。内面には重ねて焼いた胎土目の痕跡があります。



せいじりきびゆうこうろ
青磁瑠璃錆釉香炉

くるめじょうかまち
久留米城下町遺跡（城南町）第2次調査

江戸時代（1600年代前半）

高さ6.3 cm。松ぼっくりのような形と色づかいがかわいらしい香炉です。蓋は発見されていません。



いろえふじんぞう
色絵婦人像

くるめじょうかまち
久留米城下町遺跡（城南町）第2次調査

江戸時代（1690～1700年代）

柿右衛門様式の最高級品の一つです。優雅で格調の高い芸術品と言われます。割れた破片にも柿右衛門の赤色を見ることができますね。高価な人形を持っていたのは両替町に住む豪商なのではないでしょうか。



ふんどう
分銅

くるめじょうかまち
久留米城下町遺跡（城南町・日吉町）第1・2・11次調査

江戸時代

重さを天秤で量る時に使います。上の分銅は蕪形分銅で、この形を時代劇では両替商の看板に使用されているのを見かけます。



あさづまやき 各種 (瑠璃釉壺・染付大皿・碗・鳥水入れ) 朝妻古窯跡 (合川町)

江戸時代 (1700年代前半)

高台裏に「朝」「寿」の銘が入ります。天草石を陶石とした陶胎染付も特徴の一つです。朝妻焼は正徳四年 (1714) から十数年間操業しました。



なべしまそめつけだいかんもんこうだいざら くしわらさむらいやしき 鍋島染付大根文高台皿 櫛原侍屋敷遺跡 (櫛原町) 第3次調査

江戸時代 (1700年代前半)

直径 20.0 cm、高台径 11.0 cmを測る皿です。大根を一面に描いた大胆な構図が面白いですね。櫛歯文を描いた高い高台も鍋島の特徴です。



めいりりそめつけふようでほうおうもんざら くるめじょうかまち VOC 銘入染付芙蓉手鳳凰文皿 久留米城下町遺跡 (日吉町) 第14次調査

江戸時代 (1700年代前半)

直径約 21 (7寸皿)、高さ 3.1 の皿です。出島に居住したオランダ商館が肥前の窯元に注文して作らせた製品です。中央の円の中には「VOC」の文字があります。これはオランダ東インド会社を表します。



せいようとうきざら くるめじょうそとぐるわ 西洋陶器皿 [絵柄はペルシア] 久留米城外郭遺跡 (城南町) 第1次調査

江戸時代

イギリスのアダムズサンズという会社で製造されたお皿です。中央にはペルシアの風景を描いています。銅版転写という技法でプリントしています。



あかさかやき かつゆうびん くるめじょうかまち 赤坂焼：褐釉瓶 久留米城下町遺跡 (城南町) 第2次調査

江戸時代

胴が膨らむ形の瓶に褐釉をかけ、白い釉で文字を書く「イチン」が特徴です。右は「両替町」と書いています。何度でも使えるエコ商品です。



とうやていやき どびん ふた とうやていやきかまあと 東野亭焼：土瓶・蓋 東野亭焼窯跡 (諏訪野町)

江戸時代末期

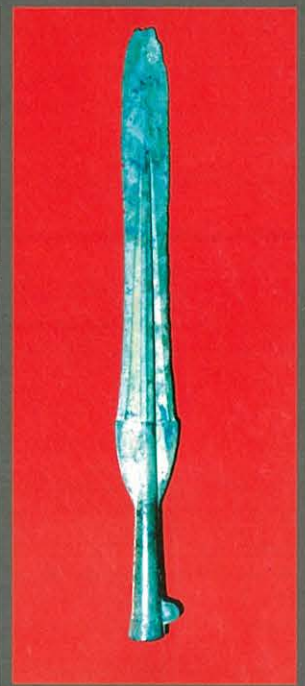
東野亭焼は幕末に東野中にあった殿様の別邸で焼かれたのが始まりです。土瓶の蓋のつまみが、「亀形」をしていたら、東野亭焼で間違いのないかも！



とうやていやき とうやていやきかまあと 東野亭焼：ロウ型 東野亭焼窯跡 (諏訪野町)

江戸時代末期

ロウを固める長方形の箱型です。内面にロウソク屋の商標が陽刻されています。久留米は木蠟産地で、「天本」姓のロウソク屋の注文品の可能性も…。



●【やってみ体験】

日時：11月5日(土)・6日(日)

午前10時～午後3時

会場：みずま祭り

三潞町文化財収蔵庫前

内容：「まが玉を作ろう」

定員：両日とも先着50名

製作時間：1時間半から2時間程度

申込：当日会場で受付 先着順

●【行って見体験】

【歴史なるほどバスツアー】

日時：11月6日(日)

午前9時30分～午後4時

内容：お宝が眠っていた遺跡を訪ねて

定員：50名

※ 要申込

10月28日(金) 申込締切 抽選

第30回 くるめの考古資料展

【平成17年10月22日～11月13日】

発行：久留米市教育委員会

編集：久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830-6

TEL 0942-34-4995

Fax 0942-34-5045

出前展示

チヨットみ展

城島総合文化センター

●10/15(土)～10/23(日)

9:00～21:30

10/17(月) 休館日

筑邦市民センター多目的棟

●10/26(水)～11/3(木)

9:30～21:00

10/31(月) 休館日

山辺道文化館

●11/5(土)～11/13(日)

10:00～17:00

11/7(月) 休館日

田主丸そよ風ホール

●11/16(水)～11/23(水)

9:00～21:30

11/21(月) 休館日

各会場とも入場無料